

環境経営レポート

株式会社山重建設

2023 年度 第 50期

(対象期間 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日)



私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

ea

®環境省
エコアクション21

認証番号0007481

作成日： 2024年8月10日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

環境経営方針

環境理念

当社は、個々の環境保全活動が地域社会で科せられた重要な課題であることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の東近江地域を中心とした公共及び民間の土木工事、建築工事の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と環境負荷の軽減に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び現場での重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場からの廃棄物のリサイクルに関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境配慮施工により環境負荷の低減に努めます。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2010年10月8日

改定日：2021年 7月1日

代表取締役 **山田 忠**

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社山重建設
代表取締役社長 山田 忠
- (2) 所在地
本 社 〒527-0034滋賀県東近江市沖野二丁目10番17号
資材置場 〒527-0066滋賀県東近江市柴原南町字奥開155-157
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 土木部 三谷 優 TEL : 090-3704-3196
E-mail : yamajyu-mitani@amail.plala.or.jp
連絡担当者 事務係 吉川 奈美 TEL : 0748-23-0150
- (4) 事業内容
滋賀県知事許可（特2）第41046号
滋賀県知事許可（般2）第41046号 土木、建築、とび・土工、舗装、水道施設、解体、管工事業
- (5) 事業の規模
売上高 187 百万円
- | | 本 社 | 倉庫 | 資材置場 | | 合計 |
|----------------------|--------------------|--------------------|----------------------|--|-------|
| 従業員 名 | 11 名 | 0 名 | 0 名 | | 11 |
| 延べ床面積 m ² | 213 m ² | 480 m ² | 2,520 m ² | | 3,213 |
- (6) 事業年度 7 月 1 日 ~ 6 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社山重建設
対象事業所： 本 社
資材置場

対象外： なし
活動： 滋賀県知事許可（特2）第41046号

□事業の紹介

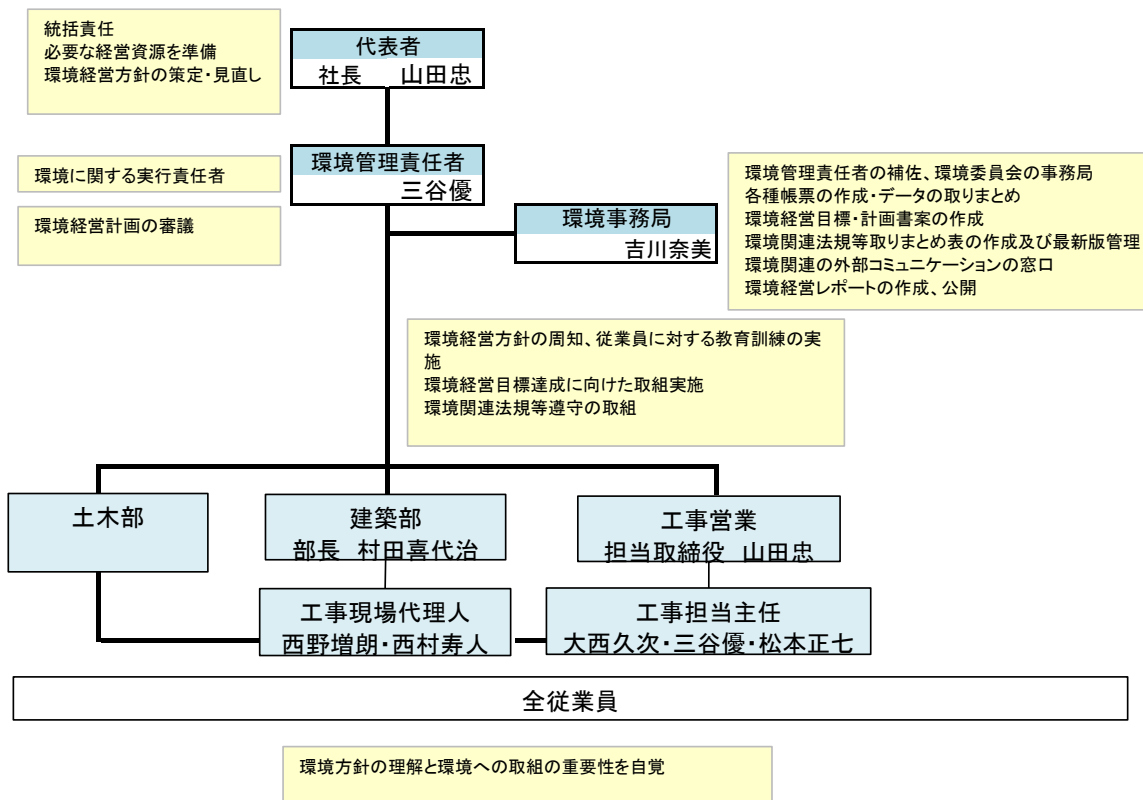
主な事業の紹介
滋賀県、東近江市他
発注の公共事業（建
築・土木）、民間・建
築、造成工事等

施工例の紹介
八幡高校屋内運動場
外壁その他長寿命化
工事
白鳥川中流2期地区浄
化池その5工事
市道桜川石塔線道路

社会貢献の紹介
美知メセナ



環境経営組織及び役割・責任・権限



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	56,300	62,434	40,857
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	51,288	55,569	38,956
Scope2（電力）	kg-CO ₂	5,012	6,864	1,901
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	96	96	96
産業廃棄物排出量	トン	5,849	764	1,485
水使用量	m ³	64	59	32
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.418	0.351	0.351
		kg-CO ₂ /kWh		
関西電力		関西電力	関西電力	関西電力

※負荷の実績は工事現場を含む

環境経営目標及びその実績

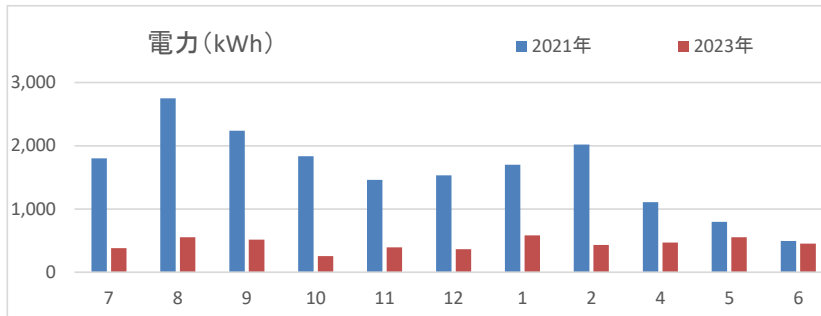
項 目	年 度	2021年	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	19,196	18,812	5,416	○	18,428	18,236
	基準年度比		98%	28%		96%	95%
売上高原単位	kWh/千円	0.018	0.017	0.024	×	0.017	0.017
	kg-CO ₂	6,738	6,603	1,901		6,468	6,401
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	53,810	52,733	37,734	○	52,195	51,657
	基準年度比	2021年	98%	70%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	60,547	59,336	39,635		58,664	58,058
一般廃棄物の削減	kg	96	96	96	○	96	96
	基準年度比		100%	100%		100%	100%
建設副産物の再資源化率の向上	%	95%	90%	99%	○	90%	90%
水道水の削減	m ³	59	56	32	○	54	53
	基準年度比		95%	54%		92%	90%
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

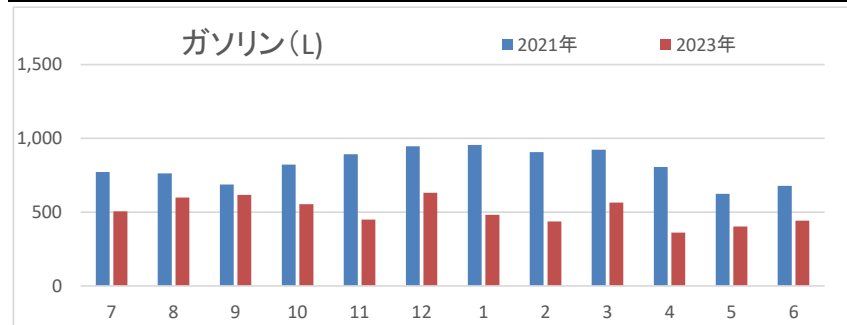
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期は公共事業(特に土木)の発注が少なく、受注工事が大きく減少した1年間であった。結果として電力使用量も大きく減少している。来期は受注工事を回復させるとともに、より一層、不要電力の削減に努めていきたい。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	△	

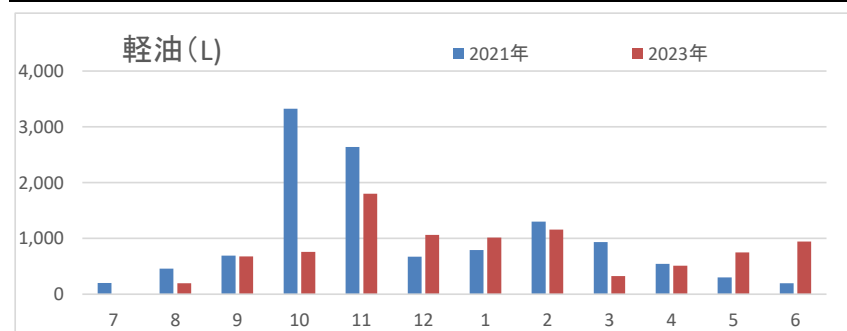


	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
2021年	1,799	2,751	2,239	1,836	1,459	1,534	1,699	2,019	1,107	1,107	797	492
2023年	382	551	514	256	392	365	583	433	465	469	553	453

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	稼働している現場数が少なく、また、近くの工事が多かったので使用量は減少した。アイドリングストップ、負荷に応じた回転数での運転等を推進した。今後も継続してエコドライブ、重機のアイドリングストップに努める。
・エコドライブの徹底	○	

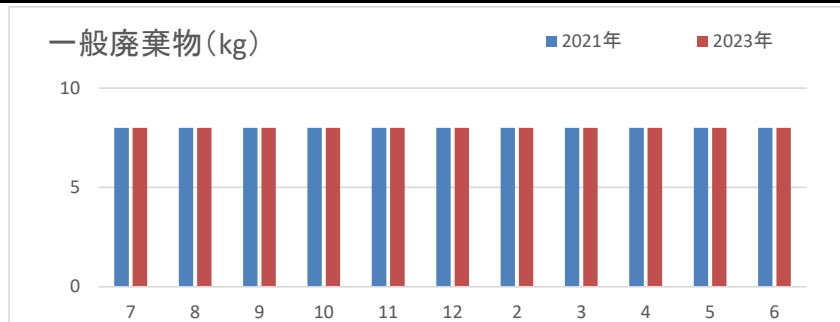


	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
2021年	772	763	688	822	892	947	955	907	924	806	624	678
2023年	506	599	618	554	450	631	481	436	565	361	403	442



	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
2021年	202	459	692	3,324	2,641	673	791	1,304	935	544	302	198
2023年	0	196	676	756	1,803	1,061	1,015	1,156	323	509	747	946

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ごみの分別の徹底、社内文書の裏紙の使用徹底、両面コピー等、削減に取り組んできたので、排出量の削減は困難な状況です。引き続き削減意識を強く持って取り組んでいきます。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	○	

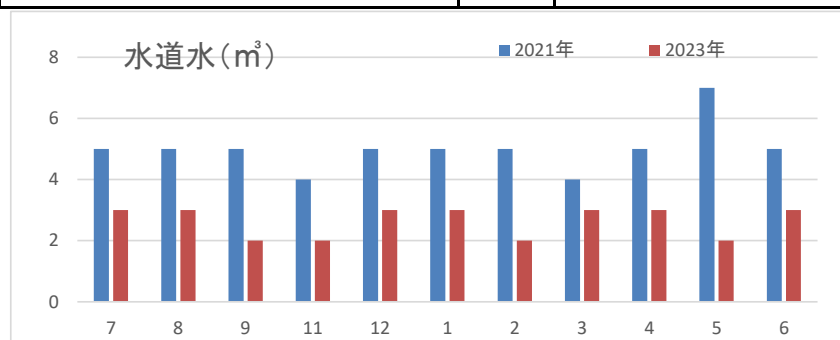


	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
2021年	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2023年	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	受注工事内容により廃棄物の数量は大きく変動する。土木工事から発生するコンガラ、アスガラ等は100%再資源化できた。また、混合廃棄物に関しては、分別に努力した。結果再資源化率は99.1%と達成した。次年度も更に再資源化率を高められるよう努力したい。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	△	



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	節水意識が定着し、目標を達成できている。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	



	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
2021年	5	5	5	4	4	5	5	5	4	5	7	5
2023年	3	3	2	3	2	3	3	2	3	3	2	3

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
① 排ガス規制対策型及び低騒音・低振動	○	重機は環境対策型を使用しており、振動・騒音は官・民ともにクレームなしで工事ができた。今後も環境配慮に努める。
② 敷鉄板の下には砂や土納及び敷ゴム	○	



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化等の管理
大気汚染防止法	解体工事時のアスベスト含有事前調査
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置
消防法（危険物）	危険物の保管
家電リサイクル法	家電リサイクル券
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検と廃棄、点検記録の保存
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、排出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

対象年度（2022年7月1日～2023年6月30日）の間、とくに環境上の苦情・要請等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 令和5年8月1日 8：30～10：00	■実施場所： 白鳥川中流2期地区浄化池その5工事
■参加者： 土木部：山田、西野、三谷、藤田、高橋、 建築部：山田、村田、西村	■実施内容： ・火災（消火）訓練
■評価： 現場での火災を想定し、初期消火訓練を実施した。火元に見立てたカラーコーンに向かってノズルを向けレバーをしっかりと握り噴射した。効果的に初期消火をすることが出来た。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

今期の電力、燃料使用量は目標を達成し減少しているが、要因としては受注工事量が減った事が大きい。今後として受注工事量を増やししながらCO2削減に今以上に取り組まなければならない。社会的にもCO2削減、SDGsへの取り組みが課題となっていることを踏まえ、エコアクション21を活用して、これらの課題解決に向けて、全社挙げて推進していく。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり
☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

資材置場にペットボトル・空き缶等種類毎にかごを設置し、リサイクルに取り組んでいます。今後も、リサイクル率の向上を目指して取り組んでいきます。
社会貢献としては、美知メセナを行い、植栽帯の管理・ごみの清掃等を行い、技士会会員として学校等での高木剪定、落ち葉の清掃、防災訓練の参加等環境活動に参加してまいりました。



美知メセナ活動状況



小学校校庭剪定作業状況

